

R5年度 事業名	移住・交流情報発信事業
R4年度 事業名	移住・交流情報発信事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「若者が住みたくなるまちの創造」を推進し、鯖江市への関係人口・定住人口の増加につなげるために、福井県が行う移住フェアやお盆相談会などを活用して県内外で積極的な情報発信を行うとともに、転入・転出者アンケートを実施・分析して効果的な移住支援策へ展開する。				
	概要	移住希望者への個別相談に応じるほか、都市圏等での鯖江市の移住情報の発信を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	移住希望者への相談業務、都市圏での情報発信		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	移住フェア・相談会等への参加回数 ※2023~	回	目標値				5	5
			実績値					
	オンラインによる情報発信回数(移住フェア・相談会等)※ 2020~2022	回	目標値	3	3	5		
			実績値	6	5	6		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	移住相談件数	件	目標値	35	35	40	150	170
			実績値	37	55	144		
達成率			105.7	157.1	360			
計算 根拠		実績値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		102	114	616	411		事業タイ	単独事業
	決算額	96	0	0	121			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	6,761	411
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	411

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	50

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	県主催の移住・就職フェアやその他の移住相談会等に参加するとともに、各種情報媒体(広報、新聞、記事、移住マッチングサイト等)を活用して情報発信するとともに、新たな情報発信の場を発掘・活用して本市の魅力を発信し、移住を考える人だけでなく、関係人口を増やすため、本市に関心を持ってもらえるよう、積極的に鯖江の魅力を伝えていく。また、県外在住の大学生等で本市の仕事・暮らし・地域情報のメール配信を希望する者に情報発信を行う。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	・福井県が開催する相談会(8月・12月)や移住フェア(東京10月、大阪11月)に参加し、移住相談やPR活動を行った。 ※連携中根都市圏が開催する移住フェアの参加(名古屋7月)は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して不参加であった。 ・鯖江への移住を検討している方に対して、市の支援策や地域の情報を届けられるよう、各課の情報を一元化して市公式ホームページ内をリニューアルした。 ・宅建協会の総会にて、本市の移住支援についてPR協力を依頼した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	・移住フェア等で不特定多数を対象とした相談受付を行った場合、鯖江市目当てに来てくれる人が少ない。 ・県外の学生等へ情報発信をする場合に有効な発信手段が少ない、かつ、新たな層を発掘することが難しい。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	県外の大学生向けに移住就職関連情報を発信(月2回)している「38エール」について、市公式LINEを活用することで発信力の強化を図る。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	めがねのまちさばえSDGs発信事業
R4年度 事業名	めがねのまちさばえSDGs発信事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	2024
	目的	人が集い・輝き・挑戦するまちの実現に向け、「SDGs推進センターのあるめがねのまちさばえ」として、SDGsに取り組むものづくり産地をアピールし、コロナの影響で沈みがちなまちに活気を取り戻し、機運を盛り上げることでにぎわいの創出や交流人口の増加に繋げる。さらに「ジェンダー平等の実現」を核とした、さばえSDGs推進センターを中心とした「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みや若者、女性を中心とした市民や企業の活動を広く発信する。				
	概要	「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取り組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるように、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、コロナの影響で沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)		国連の友APと連携している丹南ケーブルテレビに情報発信コンテンツ制作および発信、放映を委託する。また、国連の友APを通じて国連等に情報発信を行う。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	若者向けSDGs啓発事業(2023～) ※設定困難(～2022)			目標値				4	4
				実績値			2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	SDGsフェス参加企業数※2023～		回	目標値				30	40
				実績値					
	計算 根拠	2022～ 映像の放送、放映回数		達成率					
				実数値					
	制作した映像の活用回数※2022のみ			目標値			100		
				実績値			291		
	計算 根拠			達成率			291		
				実数値					
	女性活躍に関する番組制作※～2021			目標値	1	1			
			実績値	2	2				
計算 根拠			達成率	200	200				
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	会計	一般会計
	予算額	3,000	2,860	2,420	4,950	10,340	事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	2,409	2,365	2,420	4,950		経費区分	物件費

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	18,569	10,340	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,340

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	5,170
2	企業版ふるさと納税	1,200
3		
4		
5以降		
合計		6,370

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、コロナの影響で沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。

来年度へ向けて	R4年度実績 国連で採択されたSDGsGoal5を軸とした持続可能なまちづくりに向け、さばえSDGsグローバルクラブの会員の活動を中心に、SDGsの活動の「見える化」を実施。特に若い世代であるSDGs部などの学生や若者の取り組みを紹介し「行動の10年」の意識づけを行った。また、本年度に実施した市内外のSDGsの取り組みをまじえながら、めがねのまちさばえの若者や女性をはじめとする市民の活躍等を紹介。めがねのまちさばえSDGsフェスをはじめ、地域おこし協力隊やSDGs女性活躍推進アドバイザーの活動の様子を盛り込み、番組を制作し計21回放送した。センターでも開館日は毎日放映し、来館者にPRした。この番組の内容は、来年度のニューヨーク国連本部SDGs推進会議のレポートとして活用する。
---------	--

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和4年度に第1回を開催したSDGsフェスは、2日間で5,200人の来場者があった。令和5年度は、ステージの使用や鶴江市民スポーツの日イベントとコラボするなど内容を拡大充実させてより多くの来場者を見込む。また、本市のGoal5の実現を軸としたSDGs推進の取組みを紹介した映像番組を作成し、センターでの放映や、国連レポート、SNSなどで国内外に発信、また、国際女性デー関連事業など、できるだけ多くの方に見てもらえるよう、内容等も含めて協議していく。
-----------------------	--

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組みに加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけ、広く発信していく。また、SDGsフェスを若年層を巻き込むアプローチや健康な人生を送るための幸福寿命の実現するための取組みとして実施し、広く発信できるコンテンツとする。また、これら取組みを通じて、SDGsに取り組むハードルを下げ、市民が自分ごととして取り組み、行動のきっかけをつくり、行動の見える化を図る。
--------------------	---

R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	指定管理者制度導入予定のため

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
---------	----------------------

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
---------	----------------------

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業
R4年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業

総合戦略 体系	271	若者が住みたくなるまちの創造	さばえファン(関係人口)の獲得	関係人口創出事業
------------	-----	----------------	-----------------	----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	本市のシティプロモーション活動を推進する民間企業や団体をめがねのまちさばえ応援企業・団体として認定し、「めがねのまちさばえ」の地域ブランド確立の推進を図る。				
	概要	下記の取組みを協働して実施する。 ・「めがねのまちさばえ」の知名度、認知度を向上させるための取組 ・観光振興に関する取組 ・ふるさと鯖江への愛着心の向上に向けた取組 ・地方創生、地域産業振興、若者の雇用促進、子育て支援に関する取組など				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		めがねのまちさばえを応援する企業や団体を応援企業・団体として認定する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	SNS配信回数(～2022)	回	目標値	30	30	100		
			実績値	80	141	144		
	めがねのまちさばえ応援企業・団体累計登録数(2023～)	社	目標値				60	62
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	めがねのまちさばえ応援隊新規登録数(～2022)	人	目標値	500	500	1,000		
			実績値	46,678	13,778	1,012		
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照	達成率	9,335.6	2,755.6	101.2			
		実数値						
協働で事業を行った応援企業・団体数(2023～)	社・団体	目標値				4	4	
		実績値						
計算 根拠		達成率						
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	50	100	800	0	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	50	0	0	0	0		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	13,476	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点~8点 9点~16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者等に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	SDGsフェスやフードドライブ事業等の市のプロモーション事業を企業と協働で実施する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	SNSを活用したフォトコンテストを開催し、投稿写真を毎月SNSに投稿した。また、応援企業との連携事業として下記の協働プロモーションを行った。 【個別事業】CoCoを番屋・アモレながさき 【フードドライブ事業】県民生協 【SDGsフェス】丹南CATV・北陸電力・ヤマト工芸
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	応援企業の登録数が伸び悩んでいる。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	協働プロモーションの内容を積極的に発信することで、新規加入を促進する。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	眼育(めいく)さばえ
R4年度 事業名	眼育(めいく)さばえ

総合戦略 体系	999	※該当なし	※該当なし	※該当なし
------------	-----	-------	-------	-------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	子どものころからの目の健康づくり、目の健康に関する意識を高めてもらうために「眼育(めいく)」を発信し、幼少期の視力不良の早期発見や目の健康推進だけでなく、眼鏡、レンズの大切さも知っていただくことを目的に事業の推進を図りたい。				
	概要	新潟医療福祉大学石井教授と連携し、「眼育」をめがねのまちさばえから全国発信する。 ①「眼育(めいく)」をPRするための絵本作成や研修会を実施する。 ②視覚検診の充実を図り、3歳児健診だけでなく、就学前健診時にも屈折検査を導入する。 ③めがねのまちさばえ「子ども眼育スタディ」として、スマホと近視の関連性などを研究する。 ④高齢者向け、目の健康づくり教室を開催するなど目の健康づくりに取り組む。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	市直営				

DO (実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
		目に関する事業実施回数	回	目標値	5	3	3	3	3	
				実績値	5	6	5			
		成果指標								
			指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数	人	目標値	100	50	100	700	700	
				実績値	136	177	703			
		計算 根拠	R2年度：活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加 R4年度：屈折検査再開	達成率	136	354	703			
				実数値						
			ランク	A	A	A				
	前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,478	615	674	705	805		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,429	432	300	609			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	13,476	805
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	805

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	保育所や将来保育士を目指す学生向けの研修会を実施する。 コロナ禍により令和2年度、3年度と実施できなかった就学前屈折検査を教育委員会や医師会の協力を得て実施する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	新潟医療福祉大学石井雅子教授と共同し、保護者や保育現場に携わる職員、保育士を目指す学生等に目の健康づくりや眼鏡の重要性について啓発する事業を中心に行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和元年度・令和4年度に就学前屈折検査を実施したが、検査データが気がかりな児童のフォローアップをする体制づくりが必要。また、現在の眼育事業をそれぞれの所管部署で対応する形態に変えていくべきと考えている。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	事業の遂行または継続性を考慮し、所管する部署について検討する必要がある。また、開始年度に屈折検査を受信した児童に対して追跡調査を実施する。
	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)
R4年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	SDGsに関する市の取り組みや民間の取り組みなどを紹介しながら、市民へのSDGsの普及・啓発を行う。 男女共同参画・女性活躍推進地域活動拠点施設である「夢みらい館・さばえ」と協働で、SDGs Goal5「ジェンダー平等の実現」を中心としたSDGs推進のための事業を行う。 「さばえSDGs推進センター」をプラットフォームとし、市民、団体、企業、学校等と連携し、SDGs推進のための事業を実施する。				
	概要	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営を行う。 鯖江市SDGsシンボルマーク「グローバル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及を行う。 また、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		リーフレット・パネル・ピンバッジ制作、オレンジめがねキャンペーンイベント、女性活躍推進支援業務は委託。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	SDGs推進のための研修会の開催	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	29	41	46		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	SDGsの活動事業団体数	団体数	目標値	40	40	100	120	140
			実績値	43	65	111		
	計算 根拠	R2～本市と連携してSDGs推進を図っている企業、団体(さばえSDGsグローバルクラブ等)数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数	達成率	107.5	162.5	111		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	23,701	4,794	4,964	4,172	3,292		事業タイ	単独事業
	決算額	22,798	3,943	2,077	3,557			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	18,569	3,292	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,292

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	1,586
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,586

事業要員	正規職員	0.7
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	国連の友Asia-Pacificをはじめとする、さばえSDGs連携企業・団体等と連携し、SDGsの推進に関する事業、プロジェクトを企画・運営、鯖江市SDGsシンボルマーク「グローバル」を活用したSDGsの普及・啓発や国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの普及および、地域おこし協力隊を活用したSDGsの推進を行う。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R3はコロナ禍のため、センターを拠点にBookカフェやCINEMAシェアなどのミニイベントや、オンラインを活用した情報発信、教育旅行の受け入れ、出前講座などを中心に行い、市民や企業、学校などのSDGsを推進した。R4はコロナも落ち着き、これまでの事業に加え、新たに学生のためのプラットフォームであるSDGs部を立ち上げたり、SDGsカードゲーム講座や、SDGsフェスを開催したり、SDGsの「見える化」に取り組んだ。また、引き続き「さばえSDGsグローバルクラブ」の登録企業・団体などのステークホルダーとの連携を推進し、市民活動の活性化につなげる。さらに、事業実施の際は、ステークホルダーとの共同開催・連携事業等も導入していく。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 さばえSDGs推進センターでの事業実施だけでなく、SNSやオンラインでの情報発信や研修会の開催、ステークホルダーとの連携事業を実施すると共に、地域活動拠点である「夢みらい館・さばえ」や、鯖江市役所JK課・市内の学校などと連携することで、活動団体の更なる活性化を図る。
R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	指定管理者制度導入のため

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	移住就職支援事業
R4年度 事業名	移住就職支援事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	東京圏への過度な一極集中の是正および県外からの若者および子育て世帯の移住定住を促進するとともに、中小企業等における人手不足の解消に資するため、移住者に対し支援金を支給することで、一時的な費用負担を軽減して鯖江市への移住を促進する。				
	概要	<p>【東京圏型】 東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載・求人された県内中小企業に就業等し、鯖江市に移住してきた者に対して、支援金を支給する。 (R5年度から子育て加算額を30万から100万に変更)</p> <p>【R4拡大:全国型】 県外の3年以上在住者で、県内企業に就業等し、鯖江市に移住してきた40歳未満または子育て世帯に対して支援金を支給する。※新卒、非正規雇用、公務員、東京圏型の対象者等を除く。</p>				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		市が交付申請者に対して移住支援金を交付する。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	補助件数		件	目標値	2	2	10	50	50
				実績値	1	2	12		
	計算 根拠			達成率	50	100	120		
				実数値					
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	3,200	3,200	6,900	27,200		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	600	1,000	1,200	3,950			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	6,761	27,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	27,200

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	移住就職支援事業費補助金(国1/2 県1/4)	15,750
2	(全国型)移住就職支援事業費補助金(県1/2)	4,650
3		
4		
5以降		
合計		20,400

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	8

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <b>事務改善(他事業との連携・統合)</b>
取組内容	【東京圏型】単身60万円、世帯100万円 ※東京圏型については、子ども1人につき100万円を加算する。 【全国型】単身10万円、世帯15万円 ※全国型については、市内就業、新婚世帯、子ども1人につき各5万円を加算する。 また、東京圏型の登録企業数を向上させるため、商工観光課が保有する市内中小企業向けメルマガにより周知を行う。
来年度へ向けて	R4年度の実績 令和4年度の交付対象者 ・東京圏型3世帯 ・全国型9世帯 東京圏型の新規登録企業 計23社(うちR4年度新規は4社)
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 ・全国型を新たに実施したことで、令和4年度の交付対象者は12世帯となったが、令和5年度から東京圏型では子ども1人につき100万円を加算するなど、支援金額の差が大きいことが課題である。 ・移住者のニーズに則した支援制度を確立する必要がある。 ・全国に本市の制度導入の周知に加え、本市に転入したいと思わせる魅力づくり・発信が課題。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 ・関係部署と連携して、ホームページやSNSのほか、考えうる媒体を活用して制度に関するPRを強化し、制度の認知度を高め、鯖江市への移住につなげたい。
	R6方向性⇒ <b>事務改善(他事業との連携・統合)</b>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業
R4年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	平成30年度に総務省から「シェアリングエコノミー活用推進事業」を受託し実施した結果、サービス提供側・利用側それぞれに様々な課題が見つかった。また、セミナーの効果もあり、少しずつ市民のサービス提供登録が増えてきているが、まだまだ活用できるスキルや 遊休資産が眠っている。そこで、域外からの来訪者に対するサービス提供の充実、また域内のサービス提供・利用促進により持続可能なまちづくりを図る。				
	概要	本市に眠っている遊休資産の探求や新たな活用方法を研究するとともに、シェアリングサービスの利用促進を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		シェアエコセミナー、シェアエコ開拓支援を委託する。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	セミナー開催件数		回	目標値	-	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-	-
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	サービス登録件数		件	目標値	20	15	15	15	15
				実績値	21	15	16		
	計算 根拠			達成率	105	100	106.7		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	※ゼロ予算
	予算額	963	864	0	0	0		事業タイ	※ゼロ予算
	決算額	904	0	0	0	0		経費区分	※ゼロ予算

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							0
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
8	0点~8点	事務改善または廃止・休止	事務改善または廃止・休止
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 本市に眠っている遊休資産の探求や新たな活用方法を研究する。広報を活用して、市民にシェアリングの啓発を行う予定。

来年度の実績 R4年度はセミナー等による事業の必要性を再度検討するため休止とした。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 サービス登録件数を伸ばすためには、引き続き、信用の高い行政が関わりつつPRに注力するとともに、需要に沿ったサービスへの登録を促す必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 シェアリングサービスは、都市部では非常に人気があり、多くの人々に利用されていますが、地方では、交通インフラの整備不十分や低人口密度、地域特性とニーズの違いなどの問題から浸透しておらず、即効性・有効性の高い事業ではないと判断して休止とする。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業
R4年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2020	終了年度	2023
	目的	鯖江市外の人材を活用し、SDGsの推進に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	SDGsパートナーシップ事業を、国連の友Asia-Pacificでの勤務経験があり、海外事情に詳しい地域おこし協力隊と共に企画・実施するとともに、本市が特に注力する「ジェンダー平等の実現」に向けて海外の視点を生かした研修会や普及事業を実施・発信することで、市民の認知度を高め、SDGs達成に向けた行動を促す。 また、カナダ出身ということで、センターからSNSを活用して鯖江の取り組みを英語訳を付けて発信する他、国連等の海外の情報をセンター内で展示パネルや映像により、市民にわかりやすく情報提供する。 ※地域おこし協力隊の任命期間を1年間延長				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	市直営				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	SDGsの推進やジェンダー平等に関する啓発活動の実施回数		回	目標値	10	15	15	45	45
				実績値	10	16	43		
	計算 根拠	市内において地域おこし協力隊を講師とした研修会・セミナーによる啓発や推進センターでの展示による啓発、テレビ・ラジオでの啓発の実施回数	達成率	100	106.7	286.7			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,990	3,980	3,980	3,980		事業タイプ	単独事業
	決算額		1,990	3,919	3,980			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	18,569	3,980	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,980

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	SDGs推進に関する情報を市民に向けて発信するとともに、セミナー等を通して普及啓発を行うことで、市内におけるSDGs推進を図る。また、SDGs推進に関する国内外の情報を収集、必要に応じて翻訳し、市民や職員等に提供すると共に、本市のSDGs推進に関する取組について、国内外への発信を行う。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	地域おこし協力隊の活動を通じて、本市のSDGs推進の軸としている目標5「ジェンダー平等の実現」を中心とした研修会の開催や海外の視点を生かした展示、情報発信等を実施した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R2年度、R3年度共に地域のまちづくり団体や学校、企業等からの依頼により、海外の視点を活かして、SDGsや目標5「ジェンダー平等の実現」についての研修会を行った。また、さばえSDGs推進センターでの展示やSNSの活用等により、市内外に向けた情報の発信に取り組んでいる。今後もSDGs推進センターでの事業の企画や、「夢みらい館・さばえ」をはじめ、各企業・団体との連携により、活動を拡大し、より効果的な事業となるよう働きかけていく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	引き続き研修会の実施や情報発信を行いながら、随時ミーティング等の情報共有を行い、新規事業の企画や手法の検討・見直しを行っていく。
	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	指定管理者制度導入のため

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえのものづくりファン創出事業
R4年度 事業名	さばえのものづくりファン創出事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	県外の若者に鯖江のものづくりに興味を持たせ、鯖江の人々と関係性を築くことにより、さばえのものづくりファン(関係人口)を創出するとともに、移住や定住の推進を図る。				
	概要	【開催内容】「鯖江の工房ツアー」、「座談会」、「個別相談会」など 【募集対象・人数】県外の大学生とし、募集人数は15名まで 【委託事業者】(一社)SOE 【アフターフォロー】参加者の雇用・移住に関する相談等については、市が連携して対応していく。 ※丹南地域全体で取り組む事業とするため、令和5年度より鯖江市・越前市両市で負担しながら事業実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)			RENEW実行委員会による事業委託		

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加者数		人	目標値			10	10	10
				実績値			12		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	アンケート調査における鯖江のものづくりに関心を持った人の割合		%	目標値			50	80	85
				実績値			100		
	計算 根拠	関心を持った人数÷アンケート回答者総数 ※大変満足・満足・やや不満・大いに不満のうち、大変満足と満足を抽出。		達成率			200		
				実数値			12/12		
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				1,000	500		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額				1,000			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	6,761	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業補助金	250
2		
3		
4		
5以降		
合計		250

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">13</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	越前市と共同で県外の大学生を対象に、鯖江で生活しながら仕事を体験できるプログラムを開催するとともに、プログラム開催後に、参加者に対してアンケート調査を実施し、その内容に対して分析を行う。
来年度へ向けて	R4年度の実績 ・日程:2022年9月2日(金)~4日(日) ・宿泊:SABAE MEGANE HOUSE(〒916-1225 福井県鯖江市別司町31-17) ・対象:ものづくりに興味、関心のある若者(大学生および社会人の方) ・企画・運営:一般社団法人SOE ・参加者:合計12名 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 本市のものづくりに触れた若者が実際に就業・移住につながるよう、参加者の満足度が高いプログラムを提供する必要がある。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 職人や先輩移住者、あかまる隊との交流時間を増やし、つながりを強化することで、参加者満足度を向上させる。 R6方向性⇒ <span style="color: red;">維持</span> CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ゲームで体感SDGs講座開催事業
R4年度 事業名	ゲームで体感SDGs講座開催事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	本市にカードゲームのファシリテーターがいる強みを活かし、SDGsに興味のある方、SDGsカードゲームを体験したい方、カードゲームのファシリテーターになりたい方、また、企業、団体、学校現場、自治体で研修の手法として導入を検討している担当者の方などを対象に、SDGsカードゲームの体験を行う場を設け、SDGsの理解度、認知度の向上を目指す。				
	概要	タイプ別のカードゲームをいくつか組み合わせ、話し合うワークショップを盛り込んだ体験会を開催。 時期を集中した全4回の講座を前期、後期の年2回を予定。 スケジュールは事前に告知する。3回はカードゲーム、最後の1回は参加者で感じたこと、思うことを話し合う、振り返りのワークショップを行う。 グラレコを活用し、問題や活動を見える化し、センターで公開する。 カードゲームのファシリテーターがいる、(特)エコプラザさばえ、夢みらいWeと連携して行う。 市民はもちろん、グローカルクラブに登録していただいている企業・団体にも参加を呼びかけ、活動の活性化、相乗効果も図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	さばえSDGs連携企業、団体の数※～2022年度		団体	目標値			90		
				実績値			111		
	計算 根拠	グローカルクラブ111、参加:個人51人、企業・団体は0 グローカルクラブ対象の定期的な研修は～2022年度まで実施		達成率			123.3		
				実数値					
	ゲームを通したSDGs啓発イベント参加人数※2023年度～		人	目標値				50	50
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
				ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由	企業や団体の参加がなかったため								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				410	300		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額				204			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	18,569	300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	300

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	150
2		
3		
4		
5以降		
合計		150

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)  
 削減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

**今年度 R5方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

**取組内容** SDGsカードゲームを、出前講座などを通じ紹介したり、主催するイベントで体験していただく。SDGsの3側面である「経済、社会、環境」を中心に、SDGsの理解・認知を深める手段としてカードゲームを使用することで、子どもから大人までがSDGsを可視化し自分ごととして行動にうつしていただく。市民をはじめ、学校、グローカルクラブ会員の企業・団体にも参加を呼びかけ、さらに、今後、体験したカードゲームを企業の研修などとしていただくなど、各自の活動の活性化や相乗効果もねらう。カードゲームは、本市のファンリテーターが所属する(特)エコプラザさばえ、夢みらいWeと連携して行う。

**来年度へ向けて** R4年度実績 基本的に連続参加を必須とするプログラムとして想定していたが、参加者が少ないため、単発での参加を可能とした。しかし参加者は思うほど増加せず5回(51人参加)の開催にとどまった。また、グローカルクラブ登録企業・団体(R4末111)に参加を呼びかけたが、参加は無かった。

**R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題**  
1度体験した種類のゲームは、もう1度参加しようとは思われにくい傾向が分かった。そのため、ハードルを下げ、連続開催は一旦休止し、少しでも興味を沸くよう、単発で新しいカードゲームを、ごみひろいなどと組み合わせた「海ごみ講座」などとし、特に学校やSDGs部などの若者を中心に参加を促して開催する。なお、単発で開催した企業とのコラボ企画による環境講座やエンゲージメントカードゲームなどは比較的好評であったため、継続予定。また、出前講座でつながりの出来た企業から、SDGsカードゲームの問い合わせがあったため、他の企業団体などステークホルダーにも参加を呼びかけ、センターでカードゲーム講座を実施する。

**実績と課題を踏まえたR6年度の変更点**  
持続可能な社会の実現のためには経済面からの行動変容が重要であるため、企業のSDGs取り組みの機運の高まりが加速するよう、民間のノウハウの活用や啓発や開催方法の工夫により、カードゲーム講座を実施する。

**R6方向性⇒** 事務改善(民間委託の導入・拡大)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由  
指定管理者制度導入予定のため

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえSDGs部設置事業
R4年度 事業名	さばえSDGs部設置事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	若者の「SDGsの自分事化」を促進しつつ、SDGsに関心ある学生たちに活動の場を提供し、関連団体との連携を推進する。活動により、鯖江市および福井県のSDGsについて知ってもらうことで将来的に福井県に残る(または戻ってくる)人を増やす。SNS等を活用し、国内外に発信し、鯖江市に興味を持ってもらう。当センターを県内のSDGs推進拠点になるよう、市内外問わず、SDGs推進活動に興味のある若者を集める。				
	概要	「さばえSDGs部」は、SDGsに関心ある高校生・大学生等のための「ゆるい部活」。さばえSDGs推進センターを拠点に、月に1~2回ほど放課後に集まり、SDGsの各目標への理解を深めながら、「マイSDGs」を見つけて、参加者でやりたいことを見つけて自ら行動する。顧問は地域おこし協力隊の川口サマンサ。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	市直営				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	さばえSDGs部 活動日数		日	目標値			20	20	20
				実績値			10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	さばえSDGs部 部員数		人	目標値			15	38	30
				実績値			16		
	計算 根拠			達成率			106.7		
				実数値					
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				15	657		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額				13			経費区分	その他

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	201	SDGs推進センター管理運営費	8,187	657	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	657

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	328
2		
3		
4		
5以降		
合計		328

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	13	有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
点数区分	0点~8点		<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない
次年度方向性の目安	9点~16点		
判定			維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	若者の「SDGsの自分事化」を促進しつつ、SDGsに関心ある学生たちに活動の場を提供し、関連団体との連携を推進する。活動により、鯖江市および福井県のSDGsについて知ってもらうことで将来的に福井県に残る(または戻ってくる)人を増やす。SNS等を活用し、国内外に発信し、鯖江市に興味を持ってもらう。当センターを県内のSDGs推進拠点になるよう、市内外問わず、SDGs推進活動に興味のある若者を集める。
来年度へ向けて	R4年度の実績 4月のキックオフミーティングに始まり、勉強会やCM撮影などセンターを中心に活動。また、第1回のSDGsフェスでは、SDGs部としてトークショーに登壇し部の活動について発表し、自ら制作したSDGs紙芝居を披露。また、団体のイベントや県主催のSDGs企業ツアーに参加したり、仁愛大学主催の「SDGs AWARDS」にて、前出のSDGs紙芝居を披露したりした。SDGs部初年度は、活動の目的のひとつである学生の「自発的な」活動をできるだけ見守った。また、コロナの影響で、企画した活動が直前でキャンセルとなったり、特に後半は部活やテストなどで部員のスケジュールが合わなかったりしたが、SDGs部初年度として、やりたいSDGsなことを探りながらのスタートとなったが、一定の知名度と実績を作ることが出来た。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 令和5年度は2年目を迎え、メンバーも入れ替わり前年度からの継続7名を含む38名と大きく増員した。今年はSDGsフェスも2回目となり、SDGs部も舞台を使った演出や会場作り、出展などに参加することとなった。地元の鯖江高校の生徒とも連携しながら、前半はSDGsフェスに注力する。後半は、昨年やり残した案件や、あらためて学習したいことなどを整理して、年度末までできるだけ途切れることなく継続的に活動していく。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 現在部員38人中、ほとんどが市内在住か在学だが、SNSなどでもっと活動を発信して市外の部員を増やしたり、他市の学生と連携したり、イベントに参加したりするなど活動範囲を広げたい。
R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	指定管理者制度導入予定のため

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒